

# 高

山崎高等学校に縁のある「ひと・こと・もの」をつなぐ年会誌

# 山 高

No.  
63

兵庫県立山崎高等学校同窓会報

題字:元会長 大西 耕雲 氏(第3回生)

■発行日/令和7年12月15日 ■発行所/兵庫県立山崎高等学校同窓会 <http://www.yamako-dosokai.jp/>



## 主な内容

### ○山崎高等学校彩人

松井石根 シスメックス株式会社 取締役 専務執行役員

### ○がんばってます卒業生

中川美悠 宍粟市役所 住宅土地政策課

松下 柚希 武庫川女子大学 教育学部

### ○同窓会実施報告

### ○回生だより

## ご挨拶



同窓会会長  
安井唯善  
(第30回生)

同窓会会員の皆様におかれましては、各界各層にてご健勝にてますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素は山崎高校同窓会活動に深いご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年6月に開催されました本校同窓会理事総会において、三谷恭三会長の後任として任命いただきました山崎高校30回生の安井唯善と申します。多くの卒業生がおられる中、誠に僭越ですが皆様のお力添えを頼りに務めさせて頂きますので、どうぞ宜しくお願い致します。

また同副会長として長川伸介(27回生)秋田博史(33回生)谷笹摩弥(34回生)安井洋子(39回生)の四氏に就任いただきました。同窓会活動を執行してゆくうえで大変心強い体勢となりました。

私たち同窓会は「会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する」という会則の目的に則り活動を進めてまいります。

現在同窓会は在校生のために部活動

支援、進路指導支援を担っております。近年は岡山大学、鳥取大学、県立大学、兵庫教育大学への事前体験訪問時のバス代の支援を行っています。

一方、長年お世話になった東京六栄会はこの度、発展的解消となりました。今後は行政を巻き込みながら新たな組織の構築に向け協力してまいります。

さて、わが母校は令和9年に創立120周年を迎えます。同窓会の皆様と学校当局とよく擦り合わせを行い、しかるべき記念式典、記念事業を検討してまいります。同じタイミングで西播磨地区の高校再編が検討されるようです。事前に情報収集を行い山崎高校が存続出来るよう関係各所に働きかけを行ってまいります。

少子化による学級減・協力金減・諸経費高騰により同窓会会計がひっ迫しております。

会報誌「山高」の郵送費対策は愁眉の急となっておりまして。手始めに同窓会のホームページを刷新し、「山高」を閲覧できる様にいたしました。是非ご覧になっていただきたいと思っております。不易流行、残すべきは残しつつ改革すべきところは実行してまいります。

同窓会の円滑な運営には皆様のお力添えが必要です。様々な情報や忌憚なきご意見をお寄せください。今後とも同窓会活動に対し更なるご協力とご支援をお願い申し上げます。

## ご挨拶



校長  
塚本師仁

同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動の推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年度より伝統ある皆様の母校をお預かりしております。

さて、今年度の本校の取組をご報告させていただきますと、まず、今年度の山高祭(文化祭)は、テーマ「一祭合祭」今咲き誇る花になれ」として2日間の日程で開催しました。テーマには、「自分たちの全てを出し切って山高祭を楽しもう」「満開に咲き誇る花のように、自分たちが輝くだけでなく、見ているすべての人にも感動を届けた」という生徒会の思いが込められ、校歌と自由曲からなる合唱コンクールやステージ発表、文化部の展示・発表、食品バザーなど、随所に山高生の工夫と情熱が溢れていました。また、9月の体育大会も一昨年から復活したフオークダンスに職員も加わり、リレーにおいても職員が六チーム参加し、共に汗を流し、全員が輪となって校歌を歌い「チーム山高」として心に刻まれる学校行事となりました。

他方、学習面における取組としては、今年も同窓会のご支援を頂きながら、第1学年は岡山大学、第2学年は兵庫教育大学、鳥取大学、兵庫県立大学工学部を訪問し、本校生が大学の研究に直接触れる機会を設け、参加者数は昨年度以上となりました。探究活動は、宍粟市や西兵庫信用金庫様のご支援を受けながら神戸学院大学と連携して地域活性化について探究し、宍粟市長をはじめ幹部職員の前で中間発表を行いました。

また、森と食料は、今年度、農業を学ぶ高校生が集う兵庫県学校農業クラブ連盟の事務局を務め、総会をはじめ、多くの行事を担いました。加えて、第76回日本学校農業クラブ全国大会令和7年度西関東大会に、本校の農業クラブ連盟会長が兵庫県学校農業クラブ連盟会長として代議員会に出席し、農業鑑定競技(森林部門、生活部門)にも2名の生徒が出場しました。さらに今年度も「兵庫の食の魅力発信するメニュー」として本校生徒が考案したものが採用され、現在、西日本高速道路のSAで提供されています。

地域の活動は、今年度も引き続き生徒会役員や有志の生徒が高齢者宅を訪問し、社会福祉協議会が作られたお弁当を届ける配食サービスボランティアや生徒がつくったお菓子を届ける活動を行いました。また、「くにみ祭り」などの地域行事にも積極的に参加し、「山高街の駅」の開催や防災訓練後の

防災体験活動に地元の自治会と保育園児を招くなど、地域の活性化に大いに貢献してくれています。

さて、今、世の中では、様々なものに「ゆらぎ」が生じているように思います。それは、あたかもこれまで築き上げてきたものをゆさぶり、再考を促すことで新たな仕組みや秩序を伴った次代へと向かう胎動であるかのようにも感じられますし、歴史がこれまで人類の営々と築き上げてきたものの中で揺らがない真理とは何なのかを見つめ直せと促しているようにも感じられます。

身近なところでは、今秋、死者数が過去最多を更新しているクマ被害も、本来の生息域である森林に近い環境と人里との境界のゆらぎ、つまり、野生生物と人の生活圏の間にあつた境界と言える緩衝地帯が減少したためクマが人の生活圏に侵入したことが主な要因の一つとされています。

また、2022年11月に公開されたChatGPTを含む「生成系人工知能」の急速な進歩と社会実装は、生活に快適・利便性を与えただけでなく、真と偽の境界にゆらぎをもたらし、多くの著作物において何がオリジナルかわからない時代に突入させました。勿論、本物やオリジナルには、偽物やコピーにはない存在感、確かな独創性と魅力、純粹で根源的な力強さや影響力があります。その分「産みの苦しみ」を伴います。しかし、この「産みの苦

## 退任のご挨拶



前同窓会会長  
三谷 恭三  
(第24回生)

しみ」があるからこそ、輝きがあり、他に力を与えるのであり、今こそ、その過程を実体験する教育活動の充実が不可欠であると考えます。生成AIについては、授業で県教育委員会の方針を踏まえながら活用を図ってまいりますが、これまで以上に、倫理観を育み、本物を見抜く力の育成に重きを置かなければならないと考えております。その為にも、より良い人格を形成する上で、学生時代に自らが目標とするものに向かつて友と汗を流し、創意工夫し、共感し、時には互いに議論し、論し、涙し、挑戦し続ける経験が、その後の人生の大きな糧となると信じておりますし、特別活動の教育効果を再認識し展開したいと考えています。

今後も宍粟の中心校として、校訓「希望・英知・敬愛」の理念のもと、卓越した伝統を継承し、教職員が一丸となつて、各界、あらゆる分野で活躍できる生徒を育成して参りますので、同窓会の皆様には引き続き一層のご理解とご支援をいただきますよう、心からお願ひ申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



令和3年の春、前任の志水宣之さんから同窓会長の任を受けて以来、あつという間の2期4年でした。コロナ禍まっただ中の拜命でしたが、当時の武田田哉校長はじめ山高のスタッフや、同窓会役員並びに会員の皆様のあたたかいご理解とご協力でどうか今日を迎えることが出来、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

任期中の思い出として特筆させていたきたいのは、まず令和3年度の事業として校歌と生徒会歌の音源のリニューアルを図ったことでした。校歌は昭和54年に制定されたものですが、当時の音源として磁気テープとソノシートしかなく音源の劣化が進んでいました。そこで大阪のテレマンオーケストラの音楽監督である延原武春さんの協力を得て、管弦楽とピアノによる音源収録を行い、CDの制作をいたしました。以来毎年卒業記念品として、卒業生全員にCDの贈呈をいたしております。

また、令和6年3月にそれまで永年営業されていた山高の食堂が、事業者の撤退により存続の危機にありました

が、32回生(昭和55年卒)の九組有志によつて改装を施し、同メンバーでボランティア営業を続けていただいております。このことは同窓会としても、大変誇らしいそして素晴らしい活動であると思えます。事業を継続いただいているスタッフの皆さんに、心より敬意と感謝を申し上げます。

さらに、同じ令和6年4月に着任されました塚本師仁校長の提案により、近隣の国公立大学への、2年生を対象としたバスでの大学訪問を充実させるため、同窓会からも資金援助を拡充させていただきます。今後進学を志す生徒の支援に、同窓会も可能な限り応援をしていけたらよいと思っております。

他にも、この四年間には多くの思い出がありますが、書き尽くせないのが残念です。ただ、皆さんご承知のように兵庫県教育委員会は、現在高等学校の再編を検討しております。少子化と過疎化の宍粟市に於いて、この波は到底避けられないものと思えますが、私たち同窓会は学校・市当局等の協力を得て、「山崎高等学校」の存置存続を強く要望いたしますので、皆さんもどうかご支援をよろしく願ひいたします。

最後になりましたが、私の後任として安井唯善さんが同窓会長を務めていただいておりますが、私に賜りました皆様のご厚情を新会長にも同様にお願ひをいたしまして退任のご挨拶といたします。

山崎高等学校

彩人



グローバルサウスについて

シスメックス株式会社  
取締役 専務執行役員  
松井石根  
(第31回生)

グローバルサウスという英語をお聞きになったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。額面どおりにとらえれば、南半球を指す言葉になるのでしょうか、アジア、アフリカ、中南米、太平洋の島国の中の新興国+途上国を総称した呼称となっています。今後、グローバルサウスは経済面での発展と政治面での影響力の増大が見込まれています。我々企業側からみれば、将来有望な市場が新たに形成される、とても楽しみな地域と考えています。

今回はこの誌面をお借りして私の勤務しているシスメックス(株)(以下、シスメックスといいます)が、グローバルサウスでどのような取り組みを行っているかをご案内したいと思います。まずは、シスメックスの簡単なご紹介をします。設立は1968年で本社は神戸です。読者の皆様が健康診断や通院・入院された際に血液や尿の検査をされると思いますが、その際の検体を測定する検査機器・試薬を開発、生産、販売している会社がシスメックスです。世界190カ国以上で弊社の製品をご利用いただいています。

医療とスポーツは近い関係にありますので、弊社は女子陸上部(アテネ五輪の金メダリスト野口みずき選手も在籍していました)フィギュアスケート(三原舞依、坂本花織選手等)を支援しています。

さて、グローバルサウスですが、一

番の注目的は14億人を抱える人口世界一位のインドになります。

私は1980年代後半からインドを訪問しています。そこでは感じるのは、中国ほどのスピードはありませんが、着実に発展を遂げてきているという事です。都市部は慢性的な交通渋滞が続き、車・バイク・三輪タクシールがクラクションを鳴り響かせて、歩行者や時には牛をうまくよけながら縦横無尽に走っています。この混沌とした中にインドならではの秩序を見出すところがあります。「あ、うん」の呼吸とも言えるのでしょうか。国全体としてはまだまだ裕福とは言えませんし、我々には見えないカースト制度も現存しています。そのような中にあっても街は熱気と活気に満ち溢れています。豊かさへの渴望のようなものを感じます。国民は議論好きで、結論が出づらく、遅々として進まないことも多々ありますが、共通語として英語を話しますし、巨大な人口市場規模は極めて魅力的です。



インド・ムンバイの貧困街にある学校を訪問して制服を贈る

医療は道路のように社会インフラの

一つです。国の発展とともに拡大・充実していきます。そこで生まれる需要を上手く取り込んでいくことが重要です。弊社はムンバイ(旧ボンベイ)に事務所を構え、現地社員によって製品をお届けし保守も行っています。また、新たな工場を今年4月インド中西部のグジャラート州アーメダバッド市郊外(モディ現インド首相の出身地)にオープンさせました。現地で使用いただく製品を現地で生産して安心をお届けしています。地域にしっかり根をおろし、人々の健康に貢献していきたいと考えています。

次に中南米のブラジルです。ブラジルには1990年代後半に進出し、現地に工場も建設して地域のニーズに応えてきました。需要の拡大に呼応して新たな工場をパラナ州クリチバ市郊外に作ることに。私も今春地鎮祭に出席してきました。インド同様、現地に根を張って地域のために尽くす姿勢が大切だと思います。



ブラジル新工場の地鎮祭にて

最後にアフリカです。今夏、ケニア・ナイロビに事務所を

オープンさせました。これによって、アフリカ大陸54か国をガーナ(西部)、南アフリカ(南部)、フランス(北部)、ケニア(東部)からカバーできる態勢が整いました。マラリア、結核、エイズなどの感染症をいかに抑え込むかに世界の知恵と財が注がれています。弊社も特にマラリア感染の有無を短時間で測定する機器を開発し、アフリカ諸国に提供しています。



アフリカでの感染症撲滅活動を進める  
ゲイツ氏と



ガーナにある黄熱病ワクチンを発明された  
野口英世博士の記念医学研究所

グローバルサウスでの代表的な取り組みをご紹介してきましたが、現地の課題を日本の持つ叡智や技術力で解決し貢献していくことによって、世界の中で日本の存在価値が増し、「さすがソフトパワーの日本」と認められるのではないかと思っています。

(略歴)

1979年3月

兵庫県立山崎高等学校 卒業

1980年4月

神戸大学法学部 入学

1985年4月

東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)入社

2023年4月

同社取締役専務執行役員 就任(現任)

## 令和7年度 兵庫県立山崎高等学校 同窓会理事総会のご報告

同窓会会員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より山崎高等学校同窓会の活動に格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、去る令和7年6月14日、同窓会館にて令和7年度山崎高等学校同窓会理事総会を開催いたしました。当日は学校関係者をはじめ、多くの皆さまにご出席いただき、盛会のうちに執り行われました。

三谷恭三同窓会長および塚本校長のご挨拶に続き、来賓としてご臨席いただいた福元栄栗市長、中田教育長よりご祝辞を賜りました。その後、長川副会長の進行のもと、出席者による自己紹介と近況報告、懐かしい高校時代の思い出話など、和やかな雰囲気の中で進みました。議事では、令和6年度の事業報告および決算報告があり、監査担当より「適正に処理されている」との報告があり、満場一致

で承認されました。続いて、令和7年度の事業計画・予算案として、在校生への部活動補助金、語学研修補助金、進路指導支援金等の提案があり、いずれも承認されました。また、三谷会長の退任に伴う役員交替が提案され、安井唯善新会長の就任が満場一致で承認され、新体制での活動が始まることとなりました。

総会の締めくくりには、出席者全員で校歌および生徒会歌をCDに合わせて合唱し、山高生時代を懐かしく思い出すひとときを過ごし、最後に谷笹副会長より「世代を超えたつながりを大切にしていきたい」と閉会の挨拶が述べられました。

その後、会場を食堂に移し、卒業生と元教員によるジャズライブを楽しみながら、39食堂の皆さまによる手作りの豪華なお弁当をいただき、楽しい歓談の時間となりました。

今後も同窓会活動を通じて卒業生の皆さまがつつながり、母校の発展に寄与できるよう、同窓会員の皆さまの倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 安井洋子 (第39回生)

# 昭和前期動乱の20年間の 私たちの足跡 (一部抜粋)



## 松岡フサ子

県立山崎高等女学校 昭和20年卒(高女22回生)

今年、昭和100年、戦後80年という、日本にとって大きな節目の年にあたります。しかし世界に目を向ければ、ロシア・ウクライナ間の戦争や、イスラエルとハマスの紛争など、いまだ戦禍が絶えず、心を痛める日々が続いております。

そのような中、昭和10年代後半、日本が戦争へと突き進んでいった時代に、山崎高等女学校で苦しい学校生活を送られた一人の先輩による手記が残されておりました。ここにご紹介させていただきます。

筆者である松岡フサ子氏(令和3年ご逝去)は、その後、山崎幼稚園の園長を務められ、退職されるまでの長きにわたり、幼児教育の分野でスペシャリストとして、またリーダーとして活躍されました。

ぜひご一読いただき、先人への感謝の念を新たにするとともに、平和への誓いを改めて心に刻んでいただければ幸甚に存じます。

山崎高等学校同窓会報編集委員会

1928(昭和3)年にこの世に生を受け1935(昭和10)年に小学校へ入学しましたが、1937(昭和12)年、支那事変(日中戦争)が始まり毎日のように校門の前で全校生や村民が日の丸の旗を振り『勝つてくるぞと勇ましく』の歌で見送りました。出征兵士の留守家庭への慰問や農作業の手伝い、また授業中にも千人針がよく回され、兵隊さんのご無

事を祈り、ひと針ひと針縫ったものです。しかし、だんだん長引く支那事変は日ごとに悪化、泥沼となり、世界中が動乱期となりました。

そのような中、1941(昭和16)年4月に県立山崎高等女学校へ入学。憧れの女学生となり、夢と希望に満ち溢れていたのもつかの間、12月8日には大東亜戦争(太平洋戦争)が勃発。泥沼の戦争へと足を踏み入れ、激動の時代に入っていきました。

戦争は日増しに激しくなり、何事も「お国のため」と、女性も子どもも国民はすべて一致団結して銃後の守りに励みました。当然、私たちも国政に添って軍国の女学生として教育され、救急訓練、怪我人の搬送、三角巾の縫い方、包帯の巻き方、勤労奉仕、開墾作業、そして、「ぜいたくは敵だ 質素節約」と制服もモンペ姿へと変わりました。

1943(昭和18)年には神野地区の五十波、五入道河原の開墾。往復歩いて炎天下きつい作業ではありましたが、皆、歯を食いしばって頑張りました。

食糧増産のため、小学校の運動場の大半も美しかった芝生の校庭も掘り起こされ、芋や大豆畑となりました。しかし、戦争はますます激化していきました。

1944(昭和19)年7月、私たち4年生100名は加古郡土山の軍需工場、東亜金属(株)土山工場に出動を命じられ、南部・福井両先生に引率され出動しました。昭和19年半ばより20年に入ると戦争は一層烈火し、連日の空襲におびえながら飛行機の

部品作りに汗と油と涙にまみれ、励まし合い、助け合って頑張ったものです。神戸、明石、姫路の空襲、焼夷弾による火災で空が真っ赤になるのを避難した橋の下で震えながら見たものです。

工場に出動している私たち4年生も、学校に残っている1〜3年生も勉強どころではありません。それぞれの持ち場で、『撃ちて止まん、欲しがりません勝つまでは』のスローガンのもと、戦時下の女学生として精一杯頑張りました。

1945(昭和20)年3月、一応、山崎高等女学校卒業となり、一日トラックに乗って帰校しました。空襲警報のサイレンを聞きながら名ばかりの卒業式。即日、専攻科生となり、引き続き工場へ。寮も空爆にあい住めないため、近くの寺に移動し終戦まで住んでいました。

同年8月、専攻科解散。思えば私たちは軍歌の響く時代の小学生・女学生として、国政にふさわしい学生として教育され純粹に育ってきました。今から思えば、あの恐ろしい空襲時や艦載機からの機銃掃射に逃げ回ったときも、犠牲者が一人も出なかったのが何よりの幸せであり、一番の喜びです。

学生でありながら、勉強することができなかったのが残念ですが、その時に学んだいろいろな経験や、社会勉強、人間としてのあり方、人としての絆など味わい深いものが残りました。同じ釜の飯を食べ、生死を共に生き抜いた、これが私たち戦時下の女学生の青春でした。

## がんばってます 卒業生



宍粟市役所  
住宅土地政策課

中川 美悠

(第77回生)

えていただいたり、様々な研修も受けました。

少しずつ業務にも慣れ、申請書や契約書なども作成できるようになりました。年度始まるの4月は法改正の対応などとても忙しかったのですが、業務が落ち着いた6月頃からは電話対応もするようになりしました。聞き慣れない専門用語が飛び交う中で、最初の頃は担当の方に電話で聞いた情報のみを何とか伝えていないでいましたが、上司から教えていただいたり、自分でも調べるうちに徐々に専門用語も理解できるようになりました。学生時代とは違い、職場で市民の方と接することも増え、自分の生活も大きく変化しました。

宍粟市役所の住宅土地政策課に勤務し、建築物の確認申請や住宅の耐震化事業などを担当しています。建築物の確認申請では、新しく建てられる建物が周囲の環境や建築基準に適合しているかを審査します。住宅の耐震化事業では、耐震診断員に診断してもらい、耐震性がない住宅については、耐震性のある住宅に改修する費用の補助を行っています。また、宍粟市の景観にふさわしい建築物を建築してもらうため、敷地の緑化や歴史的景観の保全を進めています。

また、学生時代には気づかなかった親への感謝と尊敬の思いが強まりました。例えば学生時代にはお小遣い等を自由に使っていました。給料をもらうようになってからは、これまで親が負担してくれていた携帯料金や車のガソリン代などを自分で支払うようになり、そのありがたさを実感しています。休日には車で遠出するようになり、運転の楽しさと大変さを味わいながら、新しい生活を楽しんでいます。

## がんばってます 卒業生



武庫川女子大学  
教育学部 1年生

松下 柚希

(第77回生)

数が多いため、課題について有益な情報を得るには教授にアポイントを取る必要があります。高校の頃以上に積極的に行動するようにしました。

学習内容は保育や教育に関する専門的な分野はもちろん、音楽や心理学など幅広く学ぶことができます。中には「これが教育につながるのか」と驚くような内容もあり、自分の可能性を広げてくれています。特に音楽は子どもの心や発達に深く関わる大切なものだと感じています。ピアノや歌を通して、子どもたちと楽しく関われる保育者になりたいと思っています。

私は、4月から新大生として武庫川女子大学教育学部に進学しました。今は、保育士と幼稚園教諭第一種の資格取得を目指し、日々学習に励んでいます。自宅からは距離があるため一人暮らしを始めましたが、家事をすべて自分でするうちに、何気ないことがとても大変だと感じ、いかに家族に支えてもらっていたかを実感しています。家に帰っても誰もいないことが、たまにとても寂しく思えることがあります。

武庫川女子大学では、高校と同じように40人程度のクラス構成があり、各クラスに担任の教授が付いています。友達づくりや大学生活への不安も、担任の教授に相談できたので想像以上に早く慣れることができました。文化祭や体育祭もクラス単位で出し物を行うため、積極的にイベントに参加できます。また、規模も大きくて芸能人のトークショーやお笑いライブなどのゲストイベントもあり、とてもおもしろかったです。大学生活は高校より自由なことが多い反面、自分から動かないと誰も助けてくれません。学生

大学生になって半年ほどですが、制服姿の高校生を見るととても懐かしく感じます。私の高校生活は、友人や先生方に恵まれ、とても楽しかったです。何気ない日常の写真が今の私に元気を与えてくれています。高校生の皆さんに伝えたいのは、今の何気ない日常や友達との時間、放課後の遊びや本気で打ち込んだ部活動は期限付きであるということです。だからこそ、毎日を本気で楽しんでほしいと思います。高校も大学も、想像以上にあるという間です。

私はこれからの感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって進んでいきます。まだまだ未熟ですが、子どもたちに必要とされるような存在になれるよう、何事にも妥協せず努力を重ねていきたいです。次に山崎高校を訪れるときには、立派に成長した姿を見せられるよう頑張るので、山崎高校の皆さんも、感謝の心を忘れずに、将来に向かって勉強も遊びも精一杯頑張ってください。

## 「第8回東京穴栗会」を開催

令和7年9月20日、神戸大学六甲クラブにて、「第8回東京穴栗会」を開催いたしました。会には、穴栗市より、福元市長はじめ7人のご来賓を迎え、東京穴栗会会員29名と合わせ総勢36名での同窓会となりました。

この同窓会は、2年に一度開催され、「東京穴栗会」としては8回目の開催となりましたが、その前身は「山崎高校同窓会」として昭和48年からスタートした50年の歴史を持つ同窓会です。諸先輩のご尽力により今日まで続いてきた同窓会ではありますが、今回を持ちまして最後の開催となりました。会員の方々の高齢化、そして幹事、事務局の高齢化により今後の継続は中々困難という事で最終回となりました。

冒頭の来賓のご挨拶で、福元市長より「これだけ長く続いてきた同窓会を今回で終わらせるのはとても残念です。何とか知恵を絞って是非今後も継続していただけるよう要望いたします」とのお言葉を頂戴し、会員の中からも「なんらかの方法で継続していくことが出来ないか」という声もあり、今後の開催に関しては改めて検討することとし、兎に角一端「第8回」をもって終了という運びとなりました。

参加者全員で記念写真を撮り、つづいて各ご来賓のご挨拶、乾杯、と移りその後、テーブルのオードブルとお寿司を食しながらの歓談となりました。

歓談も落ち着いた頃、前回も大好評であった「ジャンケン大会」を行いました。これまでの長年の同窓会の開催により多少の余剰金がありましたので、豪華景品を用意し会員相互で「ジャンケン」に勝ち抜いた12名の方々に景品を提供いたしました。前回同様、「ジャンケン大会」は、とても盛り上がりその余韻を残して会は閉会となりました。

最終的に精算をいたしまして余剰金が出た場合、その額は「山崎高等学校同窓会」に寄付を行う、という事を会の冒頭に会員の皆様にご了承をいただきました。精算の結果、7万円余り残高が出ましたので、この額を「山崎高等学校同窓会」へ寄付することといたしました。

50年の長きにわたり継続してまいりました同窓会を今回にて閉会することとなりましたが、諸先輩方これまでのご尽力に対しまして敬意を表しますとともに東京穴栗会の会員の皆様の末永きご多幸を祈念いたします。

(その後、会員有志の間で、継続の意向があり、継続の有無を再度検討する事となりました。)

東京穴栗会 会長 藤村 泰弘



## 山崎高校同窓会阪神支部の第12回総会について(ご案内)

山崎高校同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

平成25年設立の阪神支部ですが、今年度も総会を例年どおり1月の最終日曜日に開催しますので、ご案内いたします。

お忙しいとは存じますが、在住・在勤の地域にこだわりませんので、お知り合いの同窓生の方をお誘いの上、是非ご参加ください。特に、若手の方や新社会人の方の参加を心よりお待ちしております。(ご出席の連絡は、下記連絡先までお願いします。)

なお、令和7年10月4日に理事会を開催し(神戸市兵庫区:清童にて)、第12回総会開催の決定、若い会員が増えない課題等について話し合いました。

- 日 時／令和8年1月25日(日) 12時～14時
- 会 費／6,000円(飲食代) ※但し、新社会人は1,000円
- 場 所／萬壽殿(最寄駅:JR・阪急・阪神・地下鉄「三宮駅」等)  
神戸市中央区中山手通2-20-4 TEL:078-231-4531

ご出席いただける方は、令和7年12月31日までに次によりご連絡願います。

- 連 絡 先／〒655-0048 神戸市垂水区西舞子6-3-70-603  
森下二三哉 宛
- 連絡方法／「メール」若しくは「はがき」  
メールアドレス:sp3x8a99@helen.ocn.ne.jp  
電話番号:078-783-8945 携帯:090-3038-0676
- 連絡内容／お名前(改姓の方は旧姓も記載願います。)  
卒業年次、住所、電話番号

### 【山崎高校同窓会 阪神支部】

- 支 部 長 築谷 尚嗣 (S46年卒)
- 副支部長 大谷 武徳 (S49年卒)
- 衣笠 達也 (S53年卒)
- 事 務 局 森下二三哉 (S56年卒)

## 16回生傘寿記念 第5回学年同窓会

11月20日、ホテルモントレ姫路で、16回生「第5回学年同窓会」を開催しました。恩師の内藤正敏先生(90歳)にもご出席いただき、母校の校章旗のもとに80歳を迎えた同窓生57名が集う、心に残る同窓会になりました。

私たち16回生が、「39会」(同窓会世話人会、代表 本條 潔氏)を基盤にして、平成17年の還暦記念同窓会(130人参加)以来、5年毎に「学年同窓会」を開催し、人のつながりと故郷への思いを大切にすてに20年になります。

今年は、昭和100年、そして戦後80年…。昭和20、21年生まれの私たちも80歳に…。経済復興のさなか、舟木一夫の「高校三年生」の歌とともに高校時代を過ごした世代です。先日の「第5回学年同窓会」でも、思い出アルバムの投影や趣味・特技の披露、ゲームなどのあと、最後に全員で「高校三年生」と「生徒会歌」を合唱し、次回の再会を祈念しました。

第16回生 進藤正洋



# 回生だより



〜元気ですごしています〜

## 戦後80年に想う

第2回生 山内健三



昭和25年卒業、今年94歳になりました。子供の頃は軍国主義の時代でした。神野小学校では身長より長い竹やりを鉄砲に見立て、軍事教練を頻繁に行っていました。よく殴られました。14歳のとき終戦、軍事教練がなくなり嬉しかったことを覚えています。

龍野中学から途中で山崎高校に編入しました。当時は男子生徒が少なく、女子のなかで肩身の狭い

思いでした。卒業後1年間代用教員として繁盛小の倉床分校で働きました。子どもたちと毎日遊んで暮らしていましたが、関係者から進学を勧められ神戸大学に入学しました。昼間は工場で朝鮮戦争に使う爆弾を製造していました。戦争のない平和な時代が続くことを願っています。

## 9組の久保です。

第23回生 久保雅彦

今回、同組の築谷君よりご指名を受けました。現在開催中のEXPO 2025を目の当たりにし、55年前のEXPO 1970が微かに頭に浮かびます。その前年の高校2年で南九州への修学旅行に行き、翌年のおまけ行事として、会場では吉田君のお姉さんにお世話になったかと思えます。彼は我

組の世話役として常々声を掛けて頂きましたが、今では鬼籍に。自分では未だに白秋の最中と思っていたところ、いつの間にか後期高齢者も間近のこの頃です。

## 老いを感じて

第24回生 清水弘和

山崎高校を卒業して53年が経ち70歳を超えた今、物忘れが多くなったり目、耳、歯も悪くなり老化を感じるようになっていきます。

先日、エンディングノートの話を聞く機会があり、もうこんな事を考えなければならぬ歳かと少し寂しさを感じ、自分の人生の位置を認識させてもらいました。

これからは、農業や老人会の活動等含め自分の力量に合った、できる事を、できるときに、できるだけだけの気持ちを意識して少しでも永く穏やかな日々が送ればと願う今日この頃です。

## 大切なこと

### 自分で見て考える

第32回生 大久保富彦

45年前に山崎高校を卒業した事が昨日のように思います。私は仕事の都合で30年程前から月に一度中国へ行く生活をしています。こ

の間の中国の発展スピードは驚愕です。10数年前から地方の小さなレストランでもキャッシュレスが当たり前になり、昨年は無人タクシーにも乗りましたが、その快適さに驚かされました。「24時間稼働しますか」と日本の発展を信じて疑わなかった30年前を感慨深く思うと同時に、昨今の日本人の旅券取得率の低下を心配しています。

## 真夏の大冒険

第44回生 キャラハンすずか

この夏、高2の娘は夫の地元であるアメリカへ初めて一人で出かけました。行く本人にとっても、送り出す親にとっても、真夏の大冒険です。ほぼ丸一日かけて飛行機を乗り継いで無事にシアトルへ到着し、家族と笑顔で再会できたという連絡を受けたときは、本当にホッとしました。約1か月の滞在中は、アメリカの家族やご近所の方と海へ出かけたり、ボウリングをしたり、従姉の子の守りをしてたりしながら、日本ではできない貴重な体験を積んだそうです。英語だけの環境で過ごしたおかげで、随分と英語も上達していました。「アメリカに行けたら、もうどこでも余裕で行けそうな気がする」その言葉に、娘の成長を実感しました。

## 普通科教育類型の取り組み

教育類型は、地域の保育園・こども園・小学校・中学校等での実習や交流を通して、コミュニケーション能力や実践的指導力を高め、連携協定を締結している兵庫教育大学・関西福祉大学・神戸親和大学との連携を図り、専門的な知識や技能を身につける活動をしています。

平成29年4月にスタートし、今年で9年目を迎えます。現在、7期生(78回生)・8期生(79回生)・9期生(80回生)が進路目標実現に向けて取り組んでいます。1期生(72回生)・2期生(73回生)の多くは大学を卒業し、学校現場をはじめ実社会での活躍が始まっています。今年度、3年生が中学校を訪問し研究レポート発表を行った際、現場の先生から「私も教育類型出身です」と声を掛けられる場面がありました。後に続いて、地域の教育を支える人材が巣立ってくれることを期待しています。

### 【今年度の具体的な活動内容】

#### 1年生

- 神戸親和大学教授による教育概論講演会
- いえしま自然体験センターでの自然体験実習
- 県教育委員会教職員人事課によるガイダンス
- 氷ノ山登山実習
- 神戸親和大学教授によるストレスマネジメント講演会
- ちくさ高原でのスキー実習



80回生 氷ノ山登山



79回生 こども園実習

#### 2年生

- 神野小学校がんだりタイムの補助
- 戸原こども園での実習
- オープンハイスクールでの説明、模擬授業
- 山崎小学校での観察実習、授業実習
- 兵庫教育大学での体験プログラム
- 関西福祉大学での体験プログラム
- グループディスカッション演習

#### 3年生

- 授業観察実習および研究レポート発表(出身中学校にて)
- 山崎聖旨保育園での実習(保育系進学希望者)
- プレゼンテーション演習および面接練習
- 校内研究発表会(類型の1・2年生を対象に)



78回生 研究レポート発表

## 代議委員会に参加して

兵庫県立山崎高等学校

森と食科3年 坂元 絢美

私は、10月22日にYCC県民文化ホールで行われた秋季代議委員会に参加しました。春季代議委員会以来の交流だったので最初は緊張もありましたが、だんだん慣れてきて仲良く交流ができました。

発表の方に出ている会長の方もいて、自分ももっと頑張らないとなと思うことができ、いい刺激をもらいました。交流の中で、県の違う他校の活動などを聞いて、日頃の活動では知ることのできない考えや取り組みに触れる貴重な機会になりました。

この会では、6つの議案について協議を行いました。来年度の全国大会の実施要項やクラブ員代表者会議の発表テーマについてなど様々なことを話し合いました。春季代議委員会で話し合ったことの内容も出てきて、改めて思い出すことができました。クラブ費増減については各県から様々な意見が提案され真剣に話し合うことができました。兵庫県からも意見を提案しましたが、兵庫県代表として発言するのはとても責任感を感じ緊張感がありました。



今年は韓国の農業クラブFFKの方たちが来日され交流会もありました。FFKの方たちが日本語でありさつをされていてとても感動しました。私たちも通訳の方に韓国語を教わりFFKの方たちと簡単な会話ができ、仲を深められました。FFKの方がピンバッジをプレゼントしてくださりました。貴重なものをいただけるとてもうれしかったです。最後

後に記念撮影もできとてもいい思い出ができました。

会議の後は23日の大会式典の連盟旗入場のリハーサルも行いました。短い時間の中でのリハーサルは緊張感がありました。立ち位置や移動の仕方など細かいことも一回で覚え本番に臨みました。

本番では兵庫県代表として責任感を持ち連盟旗を持って堂々と行進することができました。

県連盟会長になってから、初めての経験をさせていたことが多く、緊張もありますが、こうして全国大会で出会った他県のクラブ員の方と仲を深められてとてもいい経験ができました。これからも、これまでの農業クラブ活動で得た達成感や責任感を忘れず、日々の生活にも生かしていきたいです。農業クラブで貴重な経験をたくさんさせていたいただいて自分の成長にもつながりました。ありがとうございました。

## 農業クラブ全国大会に参加して

兵庫県立山崎高等学校

森と食科3年 笠波 風花

私は、10月22日から23日にかけて、

山梨県立農林高等学校で行われた農業鑑定競技の全国大会に参加しました。農林高校は創立118年を迎え、敷地は17ha並びに学校演習林160haと、全国有数の広さを誇っています。また、フランス式庭園をはじめ緑あふれる中で勉強や実習が行える理想的な環境が整った高校として知られています。

私は、高校3年間で初めて全国大会に出場することができ、今までの勉強の成果を十分に発揮できるのかということへの不安と、初めて自分の目で農業鑑定競技の全国大会の会場を見ることができることへの喜びを感じていました。会場内は全国の農業高等学校から集まった生徒の方であふれていて、これだけのライバルがいるということを目の当たりにして焦りを感じました。それと同時に、山崎高校に在学している私達と同じように農業や食、林業についての学びを深めている仲間がこんなに沢山いるということを知ることができて、すごく嬉しく思いました。

競技が始まり、体育館まで案内されると、それまで以上に緊張感が高まりました。問題を前にして解いていると、今まで勉強に使った教材の中にヒントがあるものや、いつも通りなら解くことができた問題もあったのですが、会場内の張りつめた空

気に飲まれてしまい、うまく答えを導き出せなかったことがすごく悔しかったです。それから、やはり全国大会となると問題の難易度も高く、自分の持っている知識では解くことができない問題も多くあり、自分の勉強への詰めの高さを痛感しました。

次の日に結果が出ましたが、やはり賞を取ることはできておらず、自分の至らなさを反省しました。式典が始まり、プロジェクト発表と意見発表の最優秀者の発表を聞きました。意見発表者の方は、表情や声のトーンまで本当に上手に使い分けていて、お話に引き込まれるような感覚になったことがすごく印象に残っています。プロジェクト発表は、自分たちで企画から実験まで行う大規模なプロジェクトによって、地域にとどまらず全国の農家の方の助けになるような製品を作られていて、豊かな発想や同じ高校生とは思えないほどの行動力に敬意を抱きました。

賞を取ることはできませんでしたが、私が思っているより沢山の高校生が、それぞれの場所で農業についての知識を深め、努力を重ねていることを、身をもって実感できて本当に嬉しかったです。このような貴重な機会をいただけたこと、山崎高校の先生方や、応援してくれた家族や

友人、またこの度の全国大会を開催するにあたって関わってくださったすべての方に感謝を伝えたいです。



## 全国大会に参加して

兵庫県立山崎高等学校  
森と食科2年 大村 莞月

僕たちは2泊3日で山梨へいきました。1日目は、緊張しすぎず3人もリラックスして山梨に向かいました。ついでからは武田神社へ行き、お参りしました。武田神社は歴史の感じられるところでした。武田信玄の眠るこの山梨で農業鑑定競技の全

国大会が開かれるのは、とても意味のあることに感じました。ほかにも様々なところを回ったのち、ホテルに着き、明日への勉強を行いました。2日目はいよいよ農林高校さんに

伺いました。向かう途中多少の緊張もありましたが、それよりも僕はどんな問題なのだろうか、どのような規模なのかなどのわくわくもありました。控室では全国の高校の人たちが勉強をしていましたがその方たちが持っている過去の問の冊子の分厚さ、プリントいっぱい文字に圧倒され、改めて全国のレベルの高さを感じました。そして体育館に入り問題を解くと、予習をしていたものもありましたが、それとは逆に見たことすらないものもあり、勉強の足りなさを痛感しました。

3日目は、式典に参加しました。全国の大きさから初の別室での視聴となりました。まず、あいさつなどを聞いたのち、大会旗や県旗の入場が行われました。坂元先輩を含め、皆さん凛々しく歩いておりとてもかっこよかったです。そのあとはまず意見発表を聞きました。三方とも表現力が豊かで圧倒され、伝えたいことがとても伝わってきました。次に、プロジェクト発表を聞きました。桜を酢酸などいろいろなものを混ぜ合わせて自分たちで街の桜を活性化

させ美しくするのはとても町への思いが強く美しいなと思いました。他にも深根肥料についても聞きました。これはイネに使われるもので、自分たちで工夫して壊れてもあきらめず作り続ける姿がかっこよかったです。それと、僕は家でも野菜を育てているので大根などにも深根肥料を使えば大きなものが取れるのかなと思いました。他にも、興味のある話がたくさんあり、自分たちも課題研究などでやりたいことや改善したいことなどを決め、取り組みたいです。

まとめとして、まず鑑定に関しては、全国の大きなレベルを痛感し、入賞したいのであれば、もっともっと勉強を積まないといけないなと思いました。式典は、旗を持つ人の凛々しさ、意見発表をしている人の表現力の高さを感じました。プロジェクトでも興味深いことや、地域を思う気持ちを感じられました。

この3日間初めてのことがばかりでしたが、とても貴重な体験になり、これからももっと農業クラブを頑張っていこうと思えました。そしてもっと勉強して意見、プロジェクト、鑑定のどれかで上へ出られるようにこれからも頑張りたいです。本当に今回の全国大会はいい経験になりました。



## 県総体、近畿大会を終えて

男子バレーボール部部长  
石橋広夢

私たち男子バレーボール部は、魚住先生、長生先生のご指導の下、県総体ベスト8、近畿大会出場を目標に部員26人で日々練習に励んできました。目標達成の為、基礎の反復だけでなく試合を想定した実践形式を中心に取り組んできました。

迎えた県総体では、3年生が中心となってチームの雰囲気を取り上げました。近畿大会が懸かった県立尼崎高校との試合ではお互いに点を取り合う緊張した場面もありましたが、声を掛け合いストレートで勝利することができ、練習の成果を実感しました。しかし、ベスト8を懸けた飾磨工業高校との試合ではフルセットの末に敗れ、ベスト16で大会を終えました。目標に届かなかった悔しさが強く残りました。

続く近畿大会では「より良いバレーボールをする」という思いで挑みました。1回戦で滋賀の強豪、比叡

山高校と対戦し、全員がチームの為に活躍する意志をもって戦いました。終盤まで粘り、流れを引き寄せる場面もありましたが、相手の一枚上手の技術に力及ばず、悔しい結果となりました。しかし、これまでなかなかまとまらなかったチームが、最後に一丸となって戦えたことが、結果以上に良かったと感じました。

県総体と近畿大会を通して、本当に多くの学びを得ることができました。どんな時も仲間を信じて全力で戦い続けた時間は私にとっても大きな財産です。これからは後輩達が経験を活かし、仲間を信じて戦って欲しいです。



## 令和7年度 離着任職員一覧 (敬称略)

離任職員		[転出先]
吉田 博士	教頭	姫路西高校
井上真知子	数学	赤穂高校
日下 茜	外国語	県立大学付属高校
長尾 勇佑	情報	相生高校
中島 澗	農業	農業高校
立柳 貴光	保健・体育	佐用町立中学校
浅岡 宏之	理科	北海道広尾町立小学校
岡田 美絵	主査	播磨特別支援学校
三木 康平	主事	家島高校

着任職員		[前任校]
木村 友一	教頭	姫路聴覚特別支援学校
荒内 秀明	数学	姫路南高校
深田 秀斗	外国語	新採用
今本 潤	情報	新採用
飯塚 武夫	農業	農業高校
山本 朔	理科	新採用
上田 和生	養護	新採用
船引 ゆあみ	主査	夢前高校
吉田 裕子	主事	福崎高校

## 77回生 卒業生の進路状況

### 国公立大学

兵庫教育大学	1
福山市立大学	1
合計	2

### 私立大学

龍谷大学	1
摂南大学	1
びわこ成蹊スポーツ大学	1
京都外国語大学	3
京都産業大学	7
京都橘大学	13
佛教大学	1
追手門学院大学	4
大阪学院大学	4
大阪工業大学	1
大阪産業大学	8
大阪電気通信大学	1
関西大学	1
関西外国語大学	4
四天王寺大学	1
大阪成蹊大学	1
大手前大学	4
甲南大学	1
甲南女子大学	1
神戸学院大学	13
神戸女子大学	3
神戸松蔭女子学院大学	1
神戸親和大学	1
姫路獨協大学	1
兵庫大学	7
武庫川女子大学	6
流通科学大学	1
関西福祉大学	11
姫路大学	2
奈良大学	1
高野山大学	1
岡山理科大学	3
吉備国際大学	1
合計	98

※進学実績については、合格者数を示しています。

### 私立短期大学

関西外国語大学短期大学部	6
神戸教育短期大学	1
兵庫大学短期大学部	2
合計	9

### 看護医療系専門学校

神戸医療福祉専門学校三田校	1
姫路医療センター附属看護学校	1
姫路市医師会看護専門学校	1
姫路ハーベスト医療福祉専門学校	1
兵庫歯科衛生士学院	1
合計	5

### 一般専門学校

兵庫県立但馬技術大学校	2
岡山科学技術専門学校	1
修成建設専門学校	1
日本栄養専門学校	5
日本調理製菓専門学校	2
神戸医療福祉専門学校三田校	1
大原ビジネス公務員保育専門学校姫路校	5
神戸ブレーメン動物専門学校	1
中日本航空専門学校	2
姫路情報ITクリエイター専門学校	3
放送芸術学院専門学校	2
アルファジャパン美容専門学校	3
姫路理容美容専門学校	3
ESPエンターテイメント大阪	1
大阪リゾート&スポーツ専門学校	1
大原リゾート&スポーツ専門学校	1
キャットミュージックカレッジ専門学校	1
神戸国際調理製菓専門学校	1
神戸電子専門学校	2
神戸動植物環境専門学校	1
神戸ベルエール美容専門学校	4
専門学校福岡ビジネス・アカデミー	1
日本工科大学校	4
HAL大阪	1
姫路情報システム専門学校	1
合計	50

### 公務員

兵庫県	1
宍粟市	2
合計	3

### 就職

石塚硝子株式会社	1
(株)エイテロジテックしそ工場	1
虹技株式会社	1
山陽特殊製鋼株式会社	2
トッパンプラスチック(株)福崎工場	1
西兵庫信用金庫	1
日鉄電磁(株)関西工場	1
(株)日本アレフ兵庫工場	1
ヒメジ理化学株式会社	1
プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)	1
ブンセン株式会社	1
山崎製パン株式会社	1
(株)アクト	1
一宮精工(株)	1
(株)エフピコ兵庫	2
医療法人社団おかだ歯科	1
(株)JSP関西工場	1
(株)JMUアムテック	1
(株)柴原製材所	1
(株)セイバン	3
(株)SENSACION	1
淡陽信用組合	1
日鉄テックスエンジ(株)広畑支店	1
(株)日本アレフ兵庫工場	1
日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所広畑地区	2
日本郵便(株)近畿支社	1
ミズノテクニクス(株)山崎ランパード工場	1
ヤエガキ醗酵技研(株)	1
(株)老人ホーム太陽園	1
前田製麺所	1
(株)ジョリーパスタ姫路辻井店	1
合計	36

## 協力金のお願い

※「山高」は皆さまお一人おひとりの力で発行されています ※

毎年ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この山崎高等学校同窓会報『山高』は母校や同窓生の近況をお知らせし、母校の発展と同窓生の活躍の糧となることを念じて発行させていただいておりますが、その費用は皆さまの協力金で運営されています。出費多大の折とは存じ上げますが、引き続きお一人おひとりのご協力を是非お願いいたします。

事務局より

## 同窓会報「山高」への寄稿のお願い

- 回生便り 内容：近況報告や回想など自由に寄稿ください。  
文字数：200字程度
- 同窓会実施報告 内容：開催日・場所・参加人数・会の様子などを寄稿ください。  
文字数：600字程度 写真：集合写真や会の様子が分かるもの  
\*文章・写真はなるべくデータでお願いします

### 寄稿原稿の提出先

郵送の場合 〒671-2570 兵庫県宍粟市山崎町加生340  
兵庫県立山崎高等学校 同窓会事務局

メールの場合 メールアドレス ighq0619@hyogo-c.ed.jp (すべて半角英数字)

本会は、皆様にご協力頂いております協力金により、同窓会便り「山高」の発行ほか、会員相互の親睦・交流事業、後輩諸君への支援事業を実施しております。

皆様方の温かく力強い支えにより、これらの事業が安定的かつ継続的に運営されていることに、あらためて感謝申し上げます。今後とも、本会活動へのご支援並びにご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

## 令和5年度 同窓会便り発行収支報告書

### 収入の部

新聞発行協力金 3,703,414円

### 支出の部

印刷及び封入費 1,714,000円  
宛名及び送料 1,566,757円  
合計 3,280,757円

## 編集後記

編集委員会では、年1回の同窓会報「山高」を発行しております。編集委員会の役割は、兵庫県立山崎高等女学校、兵庫県立山崎高等学校を卒業された同窓生の皆様に、各回生の同窓会開催の報告や、卒業生の回想、世界を股にかけてご活躍をされている方々からの寄稿、現在の山崎高校の様子をお伝えしています。

今年、昭和100年、戦後80年という、節目の年であり、偶然ではありますが、とある方から「同窓生の手記が手元にあるので、高校で何かに発行してもらえないか」というお話をいただきました。学校で検討した結果、同窓会報に掲載を依頼しようということになり、同窓会長をはじめ、編集委員会のメンバーで協議をして、当時の様子を生徒にも知ってもらおうと、手記を掲載させていただくことになりました。この貴重な手記が、歴史を身近に感じる一助となることを願っております。

今年も気象庁の定義という「猛暑」の日が多くありました。イメージでいうと「酷暑」。猛暑よりももっと暑い感じ、最近では日本の「四季」が「三季」になってきているといわれておりますが、寒くなるこの時期に、兵庫県立山崎高等学校同窓会報「山高」を発行することができました。「山高」を読んでいただき、往時を偲んでいただけたら幸いです。

今回も、多数の同窓生の皆様にご寄稿いただき、ありがとうございました。ご寄稿くださった同窓生の皆様に、心より感謝申し上げます。